

平成30年度事業報告

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

公益社団法人 自彊術普及会

I 【概要】

非核化への期待された米朝会談の不成就、またイスラム国の衰退とともに下火になっていたテロ活動もニュージーランド銃乱射事件、日本人の犠牲も出たスリランカでの大規模同時多発テロとそのくすぶりの予兆を思わせる状況には、一抹の不安を抱かざるを得ないが、東京オリンピックを控えた建設ラッシュ、好調を示す経済状況、国内にはおだやかな時間が流れている様に思われる。

しかし、日銀は昨年未あたりから景気後退の局面が始まっているとしており、景気に対する不透明感、不安感が一部に広がり始めている。また「物づくり日本」の代表格である自動車産業も「百年に一度の大変革期」に突入したとされる。〃機械、技術から、電動化、自動運転化、カーシェアリング等への困難な対応を求められ、日本の全就業者の一割弱が従事する産業として、その変革の帰結は日本経済にも大きなインパクトを与えるであろうとされている。

〃令和、の新時代を迎え、その平和と繁栄が維持され、豊かな時代とするためには我々一人ひとりが主体的に己が心身の健全さを維持し、平常心を養い適切な判断力を備えて事に当たることが全ての基本と考える。また自彊術指導者には、その国民の心身の健全性向上のために実践と普及に努力下さるよう期待するものである。

なお、平成30年度には、本会の活動の趣意を理解して入会した賛助会員は、56,988名となり前年度比24名の微増となったが、指導者層の世代交代が順次進んでいること、また現在支部の更新とその強化が各支部長並びに指導者各位の努力と協力を得て進められていることによるものと考ええる。また、療法を背景とする奥深い自彊術指導を可能とするよう、指導者教育の充実に注力し、一層の基盤の強化を図っていく必要があるものと考えている。常に「社会のための自彊術」という視点を持ち、各事業の遂行に努めて下さった各支部長以下全国の指導員、本部職員の皆様様に改めて感謝を申し上げます。

会 員	平成30年3月末	平成31年3月末	増 減
正 会 員	6 6 4	6 6 0	- 4
賛助会員	5 6, 9 6 4	5 6, 9 8 8	+ 2 4
合 計	5 7, 6 2 8	5 7, 6 4 8	+ 2 0

II 【事業の内容】

公1 普及促進事業

1. 指導講習会の実施(定款第4条第1項(1))

①本部主宰の講習会のほか中伝資格者以上の指導者が主宰する教場での講習会において、従前よりの教場に加えて平成30年度は下表の推移となった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国・四国・九州	合計
既存教室 H29 下期 (確定値)	61	266	2,671	692	731	458	4,879
H30 年度増減 (※速報値)	0	-3	+55	+3	+27	-10	+72
計	61	263	2,726	695	758	448	4,951

※ 各支部長申告のデータより算出しています。

② 受託講習会

地方公共団体・病院の主宰する講習会や、NHK・朝日・読売などの民間カルチャーセンターなどからの講師派遣依頼も増加した。

③ ボランティア活動

介護施設のデイケアに訪問し、参加者が可能とする運動を自彊術31動から抜粋して行う等の活動がなされた。

2. 指導者養成及び資格・称号の授与(定款第4条第1項(2))

「自彊術」を後世に永くかつ正確に継承する為に、また安全かつ適切な指導による自彊術体操の普及を確保する為に、その原点である療法と体操を基礎から学ぶ研修会を実施し、その修練と研鑽による技量に応じて指導者資格を認定授与する。

(1) 指導者養成特別研修会(「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第5条)

① 熱川研修会(自彊術体操の普及とその技術と精神の伝承を志し、自彊術普及会の中核指導者とならんとする者を養成することを目的とする。)

第103回	平成30年4月13日～15日 指導者 師範3名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計96名
第104回	平成30年6月22日～24日 指導者 師範3名・準師範1名・奥伝2名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計81名
第105回	平成30年10月19日～21日 指導者 師範2名・準師範2名・奥伝4名 受講対象者 中伝取得者、中伝を目指す者 計113名

厳しい研修にもかかわらず、参加希望者は、その技術力・指導力の向上を目指している。
 なお普及会本部では、全国規模で集合し研修を受けることにより、統一的な技術の維持確保及びその精神の伝承を図る、という非常に重要な研修会と位置づけており、研修内容も厳しいものになっている。

② **シニア熱川研修会**(68 歳以上の、指導者を目指す者を対象とした研修会を伊豆熱川で開催する。)

第 12 回	平成 30 年 10 月 17 日～19 日 指導者 師範 3 名・準師範 1 名・奥伝 4 名 受講対象者 68 歳以上の中伝取得者、中伝を目指す者 計 109 名
--------	---

指導者を目指す 68 歳以上の人を一堂に集め、自彊術の技術とその精神を正しく伝えるという目的で開催された。目的である指導技術の統一的伝承という成果は、十分に挙げ得たといえることができる。

③ **総支部指導者養成所研修会**

指導者養成のために、本部並びに総支部に於いて年 10 回を 1 タームとする基準をもって実施する。

名 称	受講資格	実施場所	指導講師
東北 指導者養成所	初伝・中伝	福島県福島市置賜町 5-18 置賜会館	準師範 高原 恵子 他
関東 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-12-3 本部道場	師 範 藤井真規子他
神奈川県 指導者養成所	初伝・中伝	東京都北区中里 2-12-3 本部道場	師 範 幸村恵美子他
中部 指導者養成所	初伝・中伝	愛知県名古屋市中区丸の内 2-5-10 アイリス愛知	準師範 富田 節代 他
関西 指導者養成所	初伝・中伝	大阪府吹田市朝日町 1-401 さんくすホール	師 範 四本多美子他
九州・中国 指導者養成所	初伝・中伝	福岡県福岡市中央区天神 2-2-20 警固神社 福岡県北九州市小倉北区 古船場町 1-6 菅原会館	準師範 宮本 縷子 他

④ **地方特別研修会**

各支部の中核となる指導者養成のために各支部の要請に応じ、年 1 回随時実施する。

平成 30 年度 地方特別研修会

番号	支部名	特研開催日				場 所	実行委員長	講 師	
		4/24	火	～	4/25			水	
1	春日部・越谷・春日部北支部合同	4/24	火	～	4/25	水	本部道場	吉川由美子	松井陽子 長島正枝
2	千葉県・練馬・むさし野支部合同	5/15	火	～	5/16	水	本部道場	堀内郁子	富田節代 鈴木多津子
3	立川朝日・春日部南支部合同	5/22	火	～	5/23	水	本部道場	松岡洋子	渡邊公子 丹羽とも子
4	豊橋支部	5/23	水	～	5/24	木	呉竹荘	富田節代	小林久美子 佐藤美枝子
5	立川・甲府支部合同	5/25	金	～	5/26	土	ブリジストン奥多摩園	江波戸光子	三上博子 大久保真治子
6	大阪府支部	5/26	土	～	5/27	日	パナソニックリゾート大阪	綿田美美枝	白須清子 結城献子
7	名古屋中支部	5/28	月	～	5/29	火	アイリス愛知	服部八子	宮本綾子 善上陽子
8	名古屋支部	6/2	土	～	6/3	日	アイリス愛知	石原久美子	藤井靖子 大橋直子
9	静岡県支部	6/2	土	～	6/3	日	静岡県職員会館 もくせい会館	岩田宏子	鎌上恭子 龍崎康江
10	わかやま県・大阪東支部合同	6/2	土	～	6/3	日	パナソニックリゾート大阪	木村嘉津子	虫生一恵 村田啓枝
11	東北総支部合同 (福島・山形県・茨城県・宮城県北)	6/3	日	～	6/4	月	茨城県立国民宿舎 鶯の岬	久保春江	須賀照子 松本雅江
12	千葉県成田支部	6/5	火	～	6/6	水	本部道場	長岡勝美	高木洋美 小島恵子
13	東京北支部	6/9	土	～	6/10	日	本部道場	堤恭子	藤井眞規子 新海治子 加納幸子
14	千葉県稲毛・千葉県流山・大宮南支部合同	6/26	火	～	6/27	水	本部道場	北原敦子	富田節代 加藤由美子
15	兵庫県支部	6/30	土	～	7/1	日	シーパル須磨	四本多美子	松井陽子 長島正枝
16	千葉県柏支部	7/3	火	～	7/4	水	本部道場	久保田元子	藤井靖子 佐藤美枝子
17	札幌支部(北海道支部)	7/7	土	～	7/8	日	札幌全日空ホテル	玉置百合子	幸村恵美子 渡邊公子
18	大宮支部	7/24	火	～	7/25	水	本部道場	佐藤美美枝	山尾慶子 綿田美美枝
19	九州・中国総支部合同 (福岡・北九州・山口・南九州・福岡南)	9/1	土	～	9/2	日	警固神社	宮本綾子	四本多美子 久坂久代
20	神奈川県総支部合同(横浜・横浜朝日・横須賀・神奈川南・大岡・神奈川ミナト・神奈川ふじさわ・湘南・静岡美)	9/4	火	～	9/5	水	本部道場	吉田裕子	須賀照子 鈴木玲子
21	板橋・小平支部合同	9/25	火	～	9/26	水	本部道場	後藤光子	高原恵子 齋藤節子
22	川越・熊谷・新宿朝日・所沢・東松山支部合同	10/2	火	～	10/3	水	本部道場	結城献子	藤井靖子 大矢貴江
23	豊川支部	10/2	火	～	10/3	水	豊川市民プラザ	加藤 由美子	四本多美子 佐藤弘子
24	富士北麓支部	10/3	水	～	10/4	木	西桂町まちづくり交流センター きずな未来館	新田孝子	三上博子 鈴木すが子
25	滋賀県・京都洛中支部合同	10/27	土	～	10/28	日	御所西京都平安ホテル	井上美枝子	白須清子 都築子ヨ子
26	京都府・奈良県支部合同	1/19	土	～	1/20	日	京都東寺内洛南会館	山尾慶子	小林久美子 花輪とも絵
27	沖縄支部	1/26	土	～	1/27	日	ユインチホテル南城	野原文雄	宮本綾子 善上陽子

(2) **上級指導者研修会** (「指導者資格・称号の授与等に関する規程」第6条)

奥伝資格以上の指導者を対象とし、その指導技術、徳育(自彊術の精神)の更なる涵養を図り、後進指導者を養成する能力を培うと同時に、自彊術体操を日本の一文化として後世に伝承する気概を持つ人材を育成することを目的とする。

- ① **準師範等研修会** (体操・療法についての技術、指導上の要点の確認をし、その結果を指導者養成特別研修会における研修に反映させることにより、指導の統一性を維持することを目的とする。)

秋田・青森県：平成30年11月18日～21日 師範6名、準師範10名

② **奥伝研修会**

- (i) 選抜奥伝研修会 (将来、指導者養成特別研修会の講師となる者を養成することを目的とし、その候補者約30名は本部が選出する。)

平成30年4月10日、10月16日、平成31年1月22日

- (ii) 奥伝会 (広く奥伝資格者を対象とする。)

秋田・青森県：平成30年11月18日～21日 師範6名、準師範10名、奥伝56名

③ **支部長研修会**

本部道場：平成30年4月10日、10月16日、平成31年1月22日

(3) **資格・称号の授与** (定款第4条第1項(2))

免状	年度	月	人数	小計
初伝	平成30年	4月	157名	
		7月	177名	
		10月	165名	
	平成31年	1月	204名	703名
中伝	平成30年	8月	162名	162名
奥伝	平成30年	6月	7名	7名
準師範	平成30年	6月	0	0
師範	平成30年	6月	0	0

地方区分別免状取得者分布は、下記のごとくとなった。

	北海道	東北	関東	中部	関西	中国四国九州	合計
初伝	8	34	401	107	97	56	703
中伝	0	6	94	19	27	16	162
奥伝	0	1	5	0	1	0	7
準師範	0	0	0	0	0	0	0
師範	0	0	0	0	0	0	0

公2 普及啓発事業

1. 自彊術に関する調査研究(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の日常生活に於ける有効性を実証することを目的に、10月19日第12回シニア熱川研修会の参加者を対象に健康度測定調査を実施した。また、平成30年1月より始めたパルスオキシメーターによる自彊術実施前後の「血中酸素飽和度変化」の継続的調査を平成30年度も実施した。

2. 自彊術に関する刊行物等の発行(定款第4条第1項(3))

① 機関紙「自彊の友」の発行

故近藤医学博士による「自彊術」の医学的根拠・効能に関する講義、受講者たちの体験談、普及活動の現状、免状取得者の氏名等を掲載して自彊術体操の優秀性・合理性を社会に啓発することを目的とする。

平成30年度各号の主な記事は次の通りである。

4月号(506号)

- ・大阪府支部たより
- ・メモリアル・レクチャー「ガンの話」③

5月号(507号)

- ・～温故知新～ 吉田富三博士
- ・平成30年4月1日附初伝取得者名簿(157名)
- ・平成29年度災害対応募金活動のお礼とご報告
- ・メモリアル・レクチャー「ガンの話」④

6月号(508号)

- ・甲府支部たより
- ・「人間はなぜ“食べ”、かつ“排泄”し続けなければいけないのだろうか」①
特別寄稿 城西大学薬学部臨床病理学教授 関谷剛先生
- ・メモリアル・レクチャー「ガンの話」⑤

7月号(509号)

- ・公益社団法人自彊術普及会 第8回通常総会
- ・平成29年度正味財産増減計算書
- ・「人間はなぜ“食べ”、かつ“排泄”し続けなければいけないのだろうか」②

8月号(510号)

- ・前会長近藤幸世先生逝去(平成30年7月12日)
- ・平成30年7月1日附初伝取得者名簿(177名)

- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」①（公開講演会）
イシハラクリニック 副院長 石原新菜先生

9月号（511号）

- ・前会長近藤幸世先生「お別れの会」（於東天紅）
- ・九州・中国総支部記念大会（福岡支部40周年）
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」②（公開講演会）

10月号（512号）

- ・ワシントンに再び中伝指導者誕生
- ・平成30年8月15日附中伝取得者名簿（162名）
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」③（公開講演会）

11月号（513号）

- ・中部総支部30周年記念式典
- ・平成30年10月1日附初伝取得者名簿（165名）
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」④（公開講演会）

12月号（514号）

- ・神奈川県総支部30周年記念感謝の集い
- ・ちょっといい話 自彊の心をもって
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」⑤（公開講演会）

1月号（515号）

- ・謹賀新年
- ・「奥伝会」東北研修の旅
- ・初めて奥伝研修会に参加して
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」⑥（公開講演会）

2月号（516号）

- ・名古屋中支部設立40周年記念大会
- ・平成31年1月1日附初伝取得者名簿（204名）
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」⑦（公開講演会）

3月号（517号）

- ・北海道支部たより
- ・特別寄稿「姉幸世、さっちゃんの思い出」師範 長谷場京
- ・「健康でいるため体の中からキレイになる」⑧（公開講演会）

② 「リーフレット」の配布状況

リーフレットには、「自彊術」の歴史と効能・地域ごとの開催場所や主宰者名が記載されている。14,253部の配布となった。

③ 「自彊術の葉」の配布状況

葉には、「カリキュラム」「自彊術の心得」とともに、「入会に必要な事項」が記載されている。平成30年度は、改訂と増刷に伴う各支部への配布のため、11,720部となった。

3. webによる情報の公開(定款第4条第1項(3))

公益法人に要求される情報公開への対応及び社会への普及啓発のために、更なる充実を図り、また役職員相互間の業務執行状況についての情報共有化により、業務の効率化及び管理体制強化のためのシステムを導入した。

4. 公開講演会の実施(定款第4条第1項(4))

一般の方々への普及啓発と会員の啓発を目的として、6月20日に、イシハラクリニック 副院長 石原新菜先生により「健康でいるため体の中からキレイになる」の演題で実施され、好評を得た。

5. 周年記念行事の実施(定款第4条第1項(4))

○支部周年行事

- ・40周年 名古屋中支部・福岡支部・北九州支部
- ・30周年 神奈川南支部
- ・20周年 練馬支部・むさし野支部
- ・10周年 所沢支部

6. 海外文化交流の実施(定款第4条第1項(4))

台湾台北教室については前年度に引続き、月一回の講師派遣をした。またワシントンDC教室からは指導者資格取得を目指し、指導者養成特別研修会への参加のため5名が来日した。

7. 近藤芳朗記念館における展示(定款第4条第1項(3))

自彊術体操の誕生・発展・衰退、そしてその復興の歴史に関する資料の収集と展示を通じて自彊術の技術的精神的優秀性を啓発することを目的とする。

- ・事務局就業時間中、一般の方も常時見学ができる。(要予約)
- ・入館料は無料
- ・本年度入館者数 248名

Ⅲ 【その他】

1. 会議(定款第3章以下及び4章以下)

- (1) **総会**・・・・・・・・・・ ○決算総会 平成30年6月20日 京王プラザホテル(東京都新宿区)
議題:平成29年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
○予算総会 平成31年3月2日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成31年度事業計画の承認
平成31年度収支予算の承認
- (2) **理事会**・・・・・・・・・・ ○決算理事会 平成30年5月25日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成29年度事業報告・収支決算報告の承認及び監査報告
○予算理事会 平成31年2月8日 北とぴあ(東京都北区)
議題:平成31年度事業計画の承認
平成31年度収支予算の承認
- (3) **支部主催会議**・・・・・・ 随時
本部よりの通達事項の遵守を目的に随時開催された。

2. 見舞金・義援金募金活動の実施

平成30年度には、大阪北部地震(6月)、西日本豪雨(7月)、41度超えの猛暑、台風21号による関西国際空港の浸水(9月)、北海道胆振東部地震(9月)、同地方同震源地震(本年2月)など、枚挙に暇のない程の大災害に見舞われた。

本会「災害対応拠出金総合口座」には、全国の会員より(西日本豪雨災害地、北海道胆振東部地震等)指定分、無指定分として総額約550万円のご厚志が寄せられた。

執行理事会では慎重に検討の上、西日本豪雨、熊本・大分地震、東日本大震災被災の会員の皆様へのお見舞金として、また北海道厚真町(北海道胆振東部地震)、朝倉市(九州北部豪雨)、益城町(熊本・大分地震)、あしなが育英会(東日本大震災)への義援金としての配賦を 決定し実行した。

3. マスコミに取り上げられた自彊術

本部

- ・KKベストセラーズ『一個人』 10月9日発売

茨城県支部

- ・びばじょいふる(月刊誌) 「サークル紹介」
- ・東海村総合福祉センター「絆」 ふれあい福祉まつり
- ・いわき民報 「30人が心地よく体動かす」(9月5日)
- ・茨城県県北生涯学習センター 「生涯学習フェスティバル」

宮城県北支部

- ・河北新法「われらの仲間」欄 日本初の健康体操(8月30日)

大宮支部

- ・よみうりカルチャー

千葉県柏支部

- ・広報かしわ 健康増進講座「からだポカポカ自彊（じきょう）術」

練馬支部

- ・広報はちおうじ 自彊術体操の会
- ・広報ふちゅう いきいき体操クラブ体験会

横浜朝日支部

- ・鎌倉市生涯学習情報誌「萌」5月号 「すこやか自彊術」

横須賀支部

- ・創年日日タイムズ 「大先生は98歳」（2月3日）

豊川支部

- ・朝日新聞（三河地方版） 「体」「呼吸」「心」を鍛える体操に支えられる健康意識

京都洛中支部

- ・京都新聞読者情報誌「きらっと京滋」5月号 「やさしい健康体操 自彊術」

奈良県支部

- ・I.C.T伊賀上野ケーブルテレビ「キラッと☆元気印」10分番組 自彊術の紹介
(9月9日～13日)

平成 30 年度事業報告 附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第 34 条 3 項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月 18 日
公益社団法人 自彊術普及会

「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（報告）

「当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に事前に政府に届出を行うことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しません。」旨の報告を、内閣官房内閣人事局内閣参事官（退職管理担当）宛に致しました。

平成 30 年 10 月 22 日
公益社団法人 自彊術普及会

平成30年度 決算報告書

平成30年度 貸借対照表

平成31年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	161,264,918	154,216,856	7,048,062
未収金	597,354	588,050	9,304
前払費用	955,356	389,937	565,419
流動資産合計	162,817,628	155,194,843	7,622,785
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	30,105,000	30,105,000	0
基本財産合計	30,105,000	30,105,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	25,000,000	25,000,000	0
減価償却引当資産	107,000,000	100,000,000	7,000,000
新自彊術会館建設積立資産	110,000,000	80,000,000	30,000,000
特定資産合計	242,000,000	205,000,000	37,000,000
(3) その他固定資産			
建物	350,709,492	350,709,492	0
建物附属設備	17,097,820	17,097,820	0
構築物	1,053,982	1,053,982	0
什器備品	9,403,634	9,403,634	0
土地	267,724,687	267,724,687	0
減価償却累計額	-134,646,772	-126,233,495	-8,413,277
ソフトウェア	476,700	476,700	0
電話加入権	72,800	72,800	0
商標権	2,438,175	2,438,175	0
保証金	70,000	20,000	50,000
その他固定資産合計	514,400,518	522,763,795	-8,363,277
固定資産合計	786,505,518	757,868,795	28,636,723
資産合計	949,323,146	913,063,638	36,259,508

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,654,236	2,443,755	210,481
前受会費	52,694,600	53,738,020	-1,043,420
預り金	611,318	556,760	54,558
流動負債合計	55,960,154	56,738,535	-778,381
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	26,213,000	26,213,000	0
退職給付引当金	1,790,572	1,546,588	243,984
固定負債合計	28,003,572	27,759,588	243,984
負債合計	83,963,726	84,498,123	-534,397
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産	835,359,420	798,565,515	36,793,905
一般正味財産合計	835,359,420	798,565,515	36,793,905
(うち基本財産への充当額)	(105,000)	(105,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(180,000,000)	(180,000,000)	(0)
正味財産合計	865,359,420	828,565,515	36,793,905
負債及び正味財産合計	949,323,146	913,063,638	36,259,508

平成30年度 正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	120,000	120,000	0
② 特定資産運用益	19,896	14,762	5,134
③ 受取会費	178,056,500	177,220,500	836,000
正会員受取会費	6,700,000	6,730,000	-30,000
賛助会員受取会費	171,356,500	170,490,500	866,000
④ 事業収益	102,419,328	98,752,772	3,666,556
講習会等実施事業収益	11,706,928	11,867,892	-160,964
指導者養成事業収益	72,784,400	68,308,880	4,475,520
資格等授与事業収益	17,928,000	18,576,000	-648,000
⑤ 受取寄付金	690,000	693,000	-3,000
受取寄付金	690,000	693,000	-3,000
⑥ 雑収益	9,637,177	10,682,394	-1,045,217
総会・懇親会会費	9,481,000	9,813,500	-332,500
受取利息	377	348	29
その他雑収益	155,800	868,546	-712,746
経常収益計	290,942,901	287,483,428	3,459,473
(2) 経常費用			
① 事業費	207,333,665	196,500,172	10,833,493
役員報酬	22,772,280	23,589,480	-817,200
給料手当	27,020,575	21,950,863	5,069,712
臨時雇賃金	3,012,075	5,448,244	-2,436,169
報酬謝金	27,225,241	27,663,400	-438,159
退職給付費用	156,241	536,745	-380,504
退職給付金	180,000	980,000	-800,000
法定福利費	3,392,617	3,652,026	-259,409
会議費	8,851,594	8,124,099	727,495
会場費	652,556	133,520	519,036
研修会場費	21,414,276	16,230,532	5,183,744
旅費交通費	18,140,484	17,751,823	388,661
通信運搬費	8,505,753	7,617,820	887,933
減価償却費	6,964,996	7,183,597	-218,601
什器備品費	48,060	205,960	-157,900
消耗品費	3,357,695	3,429,151	-71,456
修繕費	1,599,295	2,412,204	-812,909
印刷製本費	11,831,080	9,721,232	2,109,848
渉外費	456,310	419,561	36,749
光熱水料費	1,340,667	1,268,265	72,402
リース料	121,826	185,472	-63,646
保険料	507,772	444,267	63,505
諸謝金	1,874,000	1,250,000	624,000
租税公課	2,070,030	2,040,020	30,010
インターネット費	209,432	787,232	-577,800
支払手数料	232,471	226,978	5,493
委託費	6,198,110	4,969,251	1,228,859

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
事務委託費	27,306,300	27,281,050	25,250
雑費	1,891,929	997,380	894,549
② 管理費	46,815,331	42,844,847	3,970,484
役員報酬	7,797,720	8,510,520	-712,800
給料手当	7,300,035	6,094,164	1,205,871
退職給付費用	87,743	139,139	-51,396
退職給付金	0	200,000	-200,000
法定福利費	1,640,730	1,730,098	-89,368
福利厚生費	865,780	733,531	132,249
会議費	8,789,973	8,934,353	-144,380
会場費	1,388,339	1,440,238	-51,899
旅費交通費	612,679	561,565	51,114
通勤費	1,207,100	1,116,600	90,500
通信運搬費	1,168,783	1,205,446	-36,663
減価償却費	1,448,281	1,520,481	-72,200
什器備品費	92,880	613,526	-520,646
消耗品費	920,381	1,259,142	-338,761
修繕費	158,101	79,358	78,743
印刷製本費	459,210	331,664	127,546
渉外費	129,410	222,983	-93,573
光熱水料費	477,317	432,736	44,581
リース料	182,738	278,208	-95,470
保険料	28,559	28,515	44
諸謝金	20,000	40,000	-20,000
租税公課	5,652,150	3,701,650	1,950,500
支払寄付金	14,000	104,000	-90,000
支払手数料	82,692	88,794	-6,102
委託費	2,843,640	2,841,480	2,160
雑費	3,447,090	636,656	2,810,434
経常費用計	254,148,996	239,345,019	14,803,977
当期経常増減額	36,793,905	48,138,409	-11,344,504
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	36,793,905	48,138,409	-11,344,504
一般正味財産期首残高	798,565,515	750,427,106	48,138,409
一般正味財産期末残高	835,359,420	798,565,515	36,793,905
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産期末残高	30,000,000	30,000,000	0
III 正味財産期末残高	865,359,420	828,565,515	36,793,905

平成30年度 正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1 経常増減の部						
(1) 経常収益						
①基本財産運用益	0	0	120,000	120,000	0	120,000
②特定資産運用益	0	0	19,896	19,896	0	19,896
③受取会費	0	0	89,028,250	89,028,250	89,028,250	178,056,500
正会員受取会費	0	0	3,350,000	3,350,000	3,350,000	6,700,000
賛助会員受取会費	0	0	85,678,250	85,678,250	85,678,250	171,356,500
④事業収益	102,419,328	0	0	102,419,328	0	102,419,328
講習会等実施事業収益	11,706,928	0	0	11,706,928	0	11,706,928
指導者養成事業収益	72,784,400	0	0	72,784,400	0	72,784,400
資格等授与事業収益	17,928,000	0	0	17,928,000	0	17,928,000
⑤受取寄付金	0	0	690,000	690,000	0	690,000
受取寄付金	0	0	690,000	690,000	0	690,000
⑥雑収益	0	150,000	377	150,377	9,486,800	9,637,177
総会・懇親会会費	0	0	0	0	9,481,000	9,481,000
受取利息	0	0	377	377	0	377
雑収益	0	150,000	0	150,000	5,800	155,800
経常収益計	102,419,328	150,000	89,858,523	192,427,851	98,515,050	290,942,901
(2) 経常費用						
①事業費	143,913,093	63,420,572	0	207,333,665	0	207,333,665
役員報酬	16,069,710	6,702,570		22,772,280		22,772,280
給料手当	22,660,606	4,359,969		27,020,575		27,020,575
臨時雇賃金	2,879,575	132,500		3,012,075		3,012,075
報酬謝金	26,765,241	460,000		27,225,241		27,225,241
退職給付費用	139,734	16,507		156,241		156,241
退職給付金	180,000	0		180,000		180,000
法定福利費	2,865,158	527,459		3,392,617		3,392,617
会議費	8,121,778	729,816		8,851,594		8,851,594
会場費	0	652,556		652,556		652,556
研修会場費	21,324,276	90,000		21,414,276		21,414,276
旅費交通費	14,997,851	3,142,633		18,140,484		18,140,484
通信運搬費	2,380,507	6,125,246		8,505,753		8,505,753
減価償却費	5,591,459	1,373,537		6,964,996		6,964,996
什器備品費	0	48,060		48,060		48,060
消耗品費	2,571,851	785,844		3,357,695		3,357,695
修繕費	1,599,295	0		1,599,295		1,599,295
印刷製本費	2,278,480	9,552,600		11,831,080		11,831,080
渉外費	409,968	46,342		456,310		456,310
光熱水料費	1,148,463	192,204		1,340,667		1,340,667
リース料	91,370	30,456		121,826		121,826

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
保険料	363,281	144,491		507,772		507,772
諸謝金	40,000	1,834,000		1,874,000		1,874,000
租税公課	1,724,520	345,510		2,070,030		2,070,030
インターネット費	0	209,432		209,432		209,432
支払手数料	214,761	17,710		232,471		232,471
委託費	6,057,710	140,400		6,198,110		6,198,110
事務委託費	1,787,250	25,519,050		27,306,300		27,306,300
雑費	1,650,249	241,680		1,891,929		1,891,929
②管理費	0	0	0	0	46,815,331	46,815,331
役員報酬					7,797,720	7,797,720
給料手当					7,300,035	7,300,035
退職給付費用					87,743	87,743
法定福利費					1,640,730	1,640,730
福利厚生費					865,780	865,780
会議費					8,789,973	8,789,973
会場費					1,388,339	1,388,339
旅費交通費					612,679	612,679
通勤費					1,207,100	1,207,100
通信運搬費					1,168,783	1,168,783
減価償却費					1,448,281	1,448,281
什器備品費					92,880	92,880
消耗品費					920,381	920,381
修繕費					158,101	158,101
印刷製本費					459,210	459,210
渉外費					129,410	129,410
光熱水料費					477,317	477,317
リース料					182,738	182,738
保険料					28,559	28,559
諸謝金					20,000	20,000
租税公課					5,652,150	5,652,150
支払寄付金					14,000	14,000
支払手数料					82,692	82,692
委託費					2,843,640	2,843,640
雑費					3,447,090	3,447,090
経常費用計	143,913,093	63,420,572	0	207,333,665	46,815,331	254,148,996
当期経常増減額	-41,493,765	-63,270,572	89,858,523	-14,905,814	51,699,719	36,793,905
2 経常外増減の部						
(1)経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2)経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	-41,493,765	-63,270,572	89,858,523	-14,905,814	51,699,719	36,793,905
他会計振替額	0	0	14,905,814	14,905,814	-14,905,814	0

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合 計
	普及促進事業 (公 1)	普及啓発事業 (公 2)	共 通	小 計		
当期一般正味財産増減額	-41,493,765	-63,270,572	104,764,337	0	36,793,905	36,793,905
一般正味財産期首残高				509,375,617	289,189,898	798,565,515
一般正味財産期末残高				509,375,617	325,983,803	835,359,420
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額				0	0	0
指定正味財産期首残高				30,000,000	0	30,000,000
指定正味財産期末残高				30,000,000	0	30,000,000
III 正味財産期末残高				539,375,617	325,983,803	865,359,420

平成30年度 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 投資有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券について、償却原価法は重要性が乏しいため採用していない。

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物については、定額法によっている。

建物附属設備、構築物については、定額法及び定率法によっている。

什器備品については、定率法によっている。

② 無形固定資産

定額法によっている。

(3) 役員退職慰労引当金の計上基準

役員の退職慰労金の支払いに充てるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(4) 退職給付引当金の計上基準

職員に対する退職金の支払いに備えるため規定に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額とその残高

基本財産及び特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	0	0	30,105,000
小計	30,105,000	0	0	30,105,000
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	0	0	25,000,000
減価償却引当資産	100,000,000	7,000,000	0	107,000,000
新自 疆術会館建設積立資産	80,000,000	30,000,000	0	110,000,000
小計	205,000,000	37,000,000	0	242,000,000
合 計	235,105,000	37,000,000	0	272,105,000

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充当)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
小計	30,105,000	(30,000,000)	(105,000)	(-)
特定資産				
退職給付引当資産	25,000,000	(-)	(-)	(25,000,000)
減価償却引当資産	107,000,000	(-)	(107,000,000)	(-)
新自 疆術会館建設積立資産	110,000,000	(-)	(110,000,000)	(-)
小計	242,000,000	(-)	(217,000,000)	(25,000,000)
合 計	272,105,000	(30,000,000)	(217,105,000)	(25,000,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	350,709,492	113,632,432	237,077,060
建物附属設備	17,097,820	10,541,076	6,556,744
構築物	1,053,982	717,294	336,688
什器備品	9,403,634	7,141,578	2,262,056
商標権	2,438,175	2,137,692	300,483
ソフトウェア	476,700	476,700	0
合 計	381,179,803	134,646,772	246,533,031

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
第339回利付国債(10年)	30,105,000	31,152,000	1,047,000
合 計	30,105,000	31,152,000	1,047,000

6 支部組織の会計の合計

平成20年度より支部組織の会計を合計表示している。

支部が独立した会計単位となっていないため本部が支部からの会計資料を基礎にして決算を行い、本部会計と合計している。

7 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	26,213,000	0	0	0	26,213,000
退職給付引当金	1,546,588	243,984	0	0	1,790,572

平成30年度 財産目録

平成31年3月31日現在

公益社団法人 自彊術普及会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	・手元保管(本部)	運転資金として	527,651	
		・手元保管(各支部・61口)	運転資金として	5,371,692	
			<現金計>	5,899,343	
	預金	・城北信用金庫駒込支店	運転資金として	44,451,022	
		・三菱UFJ銀行駒込支店	運転資金として	2,175,761	
		・ゆうちょ銀行中里郵便局	運転資金として	24,407,004	
		・ゆうちょ銀行支部口座(61口)	運転資金として	78,429,446	
			<普通預金計>	149,463,233	
		・ゆうちょ銀行中里郵便局 ・ゆうちょ銀行王子郵便局	運転資金として (026471) 運転資金として (687874)	5,499,186 403,156	
		<振替預金計>	5,902,342		
	未収金	・講師料等の未収額	普及促進事業に供する講師料等の未収分	597,354	
前払費用	・火災保険料等前払費用額	公益目的事業及び管理業務の用に供する前払費用	955,356		
		<その他計>	1,552,710		
流動資産合計				162,817,628	
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	・第339回利付国債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	30,105,000
			<基本財産計>	30,105,000	
	特定資産	退職給付引当資産	・定期預金	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	15,000,000
			・普通預金 三菱UFJ銀行駒込支店	負債(退職引当金)に対応して引当された資産	10,000,000
		減価償却引当資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	減価償却累計額に対応して引当された資産	107,000,000
	その他固定資産	新自彊術会館建設積立資産	・定期預金 三菱UFJ銀行駒込支店	新自彊術会館建設目的のために積立られた資産	110,000,000
			<特定資産計>	242,000,000	
		建物	・会館 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は66%:34%である。	35,725,944
			・本部道場 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	135,708,621
			・資料館及び会館内装工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は82%:18%である。	11,177,766
			・第二道場 北区中里二丁目14-3	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%である。	42,625,156
			・資料館及び事務所の改修工事 北区中里二丁目14-1	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は31%:69%である。	5,258,980
			・本部道場の外部補修工事 北区中里二丁目12-3	公益目的事業の用に100%供している。	6,580,593
	<建物計>		237,077,060		
	建物附属設備	・会館の空調・電気・昇降 設置工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は50%:50%	264,385	
		・本部道場・会館の看板交換 工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は76%:24%	35,639	
		・第二道場の電気・ガス・ 給排水・冷暖房等設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、共用割合は80%:20%	1,628,065	
・会館2F設備・電気・照明工事		管理業務の用に100%供している。	2,014,796		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
構築物	構築物	・会館3F電気工事・ミニキッチン等	公益目的事業の用に100%供している。	172,116		
		・本部道場空調機オーバーホール	公益目的事業の用に100%供している。	825,471		
		・本部道場地下倉庫棚設置工事	管理業務の用に100%供している。	195,262		
		・本部道場空調機オーバーホール追加	公益目的事業の用に100%供している。	1,421,010		
	<建物附属設備計>				6,556,744	
	什器備品	構築物	・第二道場の舗装・排水工事、 ネットフェンス・電動門扉	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%である。	336,688	
			<構築物計>			
		什器備品	・家具	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	57,550	
			・コンピューターサーバー	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	1	
			・組込金庫	公益目的事業、管理業務の共用割合22%:78%	65,233	
			・第二道場の電話設備・共同 視聴装置	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	1	
			・第二道場のインターフォン 設備工事	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	1	
			・絵画	管理業務の用に100%供している。	1,350,000	
			・会館2Fエアコン・ブラインド	管理業務の用に100%供している。	106,015	
			・会館1Fエアコン	公益目的事業の用に100%供している。	124,158	
			・会館3Fエアコン・換気扇	公益目的事業の用に100%供している。	16,395	
			・会館3F事務机・応接セット	管理業務の用に100%供している。	210,308	
			・AED 2台	公益目的事業の用に100%供している。	332,394	
			<什器備品計>			
	土地	・95.70㎡(会館)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は66%:34%である。	66,453,187		
土地	・131.23㎡(本部道場)	公益目的事業の用に100%供している。	109,410,000			
土地	・116.68㎡(第二道場)	公益目的事業及び管理業務の用に供しており、 共用割合は80%:20%	91,861,500			
<土地計>				267,724,687		
商標権	・自彊術に関する日本・中国・ 台湾の商標権	公益目的事業の用に100%供している。	300,483			
ソフトウェア	・法人会計ソフト	管理業務の用に100%供している。	0			
電話加入権	・電話加入権	公益目的事業の用に100%供している。	72,800			
保証金	・警備保障会社契約保証金	管理業務の用に100%供している。	20,000			
	・携帯電話保証金	公益目的事業の用に100%供している。	50,000			
<その他計>				443,283		
固定資産合計			786,505,518			
資産合計			949,323,146			
(流動負債)	未払金	・アーク印刷	月刊機関紙印刷代等の未払額	1,343,228		
		・郵便事業	3月分後納郵便代	93,517		
		・北社会保険事務所	3月分厚生年金保険料他	366,336		
		・台北教室講師料・交通費	3月分台北教室講師料・交通費	93,250		
		・2月分社会保険料	4/1口座引落分	724,932		
		・2月分電話代	4/1口座引落分	32,973		
<未払金>				2,654,236		
	前受会費	・賛助会費	平成31年度賛助会費の前受会費	39,918,000		
		・研修会費	第106回熱川研修会の研修会費	3,709,400		
		・研修会費	平成31年度本部道場研修会費	9,007,200		
		・賛助会費	平成31年度団体会費	60,000		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
	預り金	・王子税務署 ・ ・豊島区役所他 ・雇用保険料他	<p style="text-align: right;"><前受会費></p> 3月分 給与分源泉所得税 257,878 3月分 204条源泉所得税 12,252 3月分 住民税 250,000 91,188 <p style="text-align: right;"><預り金></p> 611,318	52,694,600
流動負債合計				55,960,154
(固定負債)	役員退職慰労引当金	・役員退職慰労引当金	常勤役員の退職慰労金の引当金 <p style="text-align: right;"><役員退職慰労引当金></p> 26,213,000	26,213,000
	退職給付引当金	・退職給付引当金	職員退職金の引当金 <p style="text-align: right;"><退職給付引当金></p> 1,790,572	1,790,572
固定負債合計				28,003,572
負債合計				83,963,726
正味財産				865,359,420

監査報告書

令和 1 年 5 月 17 日

公益社団法人 自彊術普及会
代表理事 久保 穎子 殿

監 事 飯森 和也



監 事 平野 晶己



私たちは、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの平成 30 年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び正味財産増減計算書内訳表並びに財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上